

最上川上流水防災意識社会再構築ビジョンの取組 H28.11版

■ 防災知識普及のための報道関係者向け説明会を実施

- ・報道関係者に複雑化、高度化する各種防災情報や河川管理者の洪水対応について説明。
- ・地域住民の水害からの避難や被害軽減に対する意識を高めることを促す報道を期待。

河川防災知識普及のための説明会

■ 日時 11月 7日(月) 9:00~10:30
11月14日(月)13:00~14:30 ※2回に分けて開催

■ 場所 山形河川国道事務所

■ 出席者 NHK、山形放送、山形テレビ、テレビユー山形、
さくらんぼテレビ、山形新聞、読売新聞

■ 内容 ・危険度に応じた基準水位と避難情報の関係
・洪水時の情報提供
・河川管理業務(出水時、平常時)
・これからの水害対策
・災害対策室の紹介

■ 主な意見及び質問内容

- ・避難判断水位が要配慮者の避難開始の目安であることを一般に伝わっていないのでは
- ・基準水位の意味は全国統一なのか
- ・タイムラインは沿川市町全てで作られているのか
- ・漏水が起こりやすい箇所を把握しているのか
- ・水防警報と洪水予報をよく理解せず受信していた
- ・災害対策室は洪水時に取材できるのか
- ・基準水位と避難情報の関係を再確認できた
- ・説明会の内容を社内で共有したい



説明会開催状況



今後の水害対策映像放映(東北地整作成)



災害対策室の紹介